

会 議 次 第

日 時 平成31年1月28日（月） 午後2時00分～

場 所 船橋市役所 本庁舎6階 602会議室

1. 開 会

2. 挨拶 三澤生涯学習部長

3. 議 事

- (1) 平成30年度 調査成果について
- (2) 史跡指定範囲候補（案）について
- (3) 平成31年度 調査計画について
- (4) 国指定までのスケジュールについて
- (5) ボーリング調査について
- (6) 平成30年度普及事業について
- (7) パンフレットおよび概報について
- (8) 講演会の開催について
- (9) 企画展「ここまでわかった！～1万年前の取掛西貝塚～」の開催
について
- (10) その他

5. 閉 会

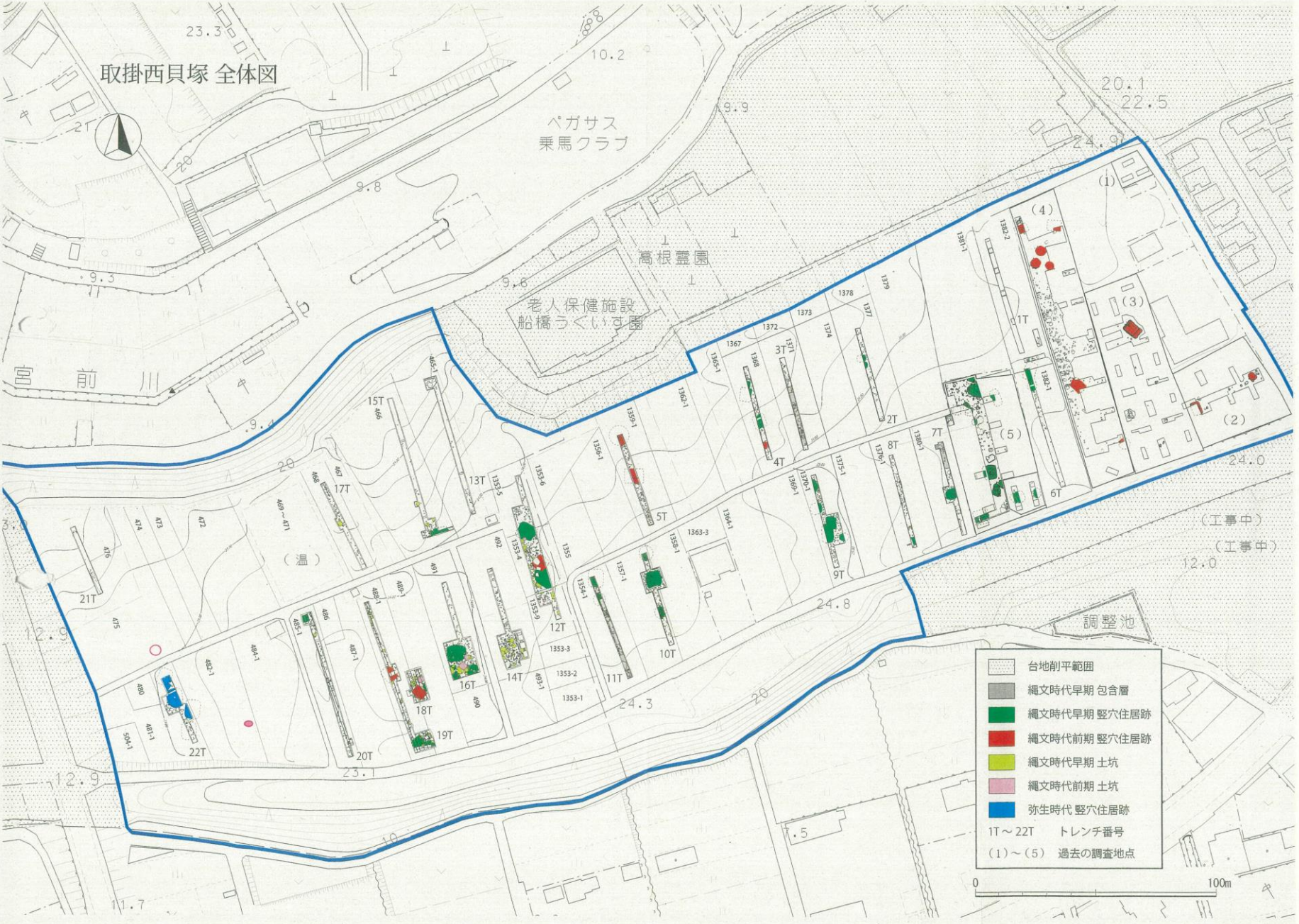
取掛西貝塚 全体図



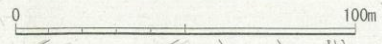
ペガサス
乗馬クラブ

高根公園

老人保健施設
船橋うくいき園



- 台地削平範囲
- 縄文時代早期包含層
- 縄文時代早期 竪穴住居跡
- 縄文時代前期 竪穴住居跡
- 縄文時代早期 土坑
- 縄文時代前期 土坑
- 弥生時代 竪穴住居跡
- 1T ~ 22T トレンチ番号
- (1) ~ (5) 過去の調査地点



取掛西貝塚 来年度調査(案)










パガサス
乗馬クラブ

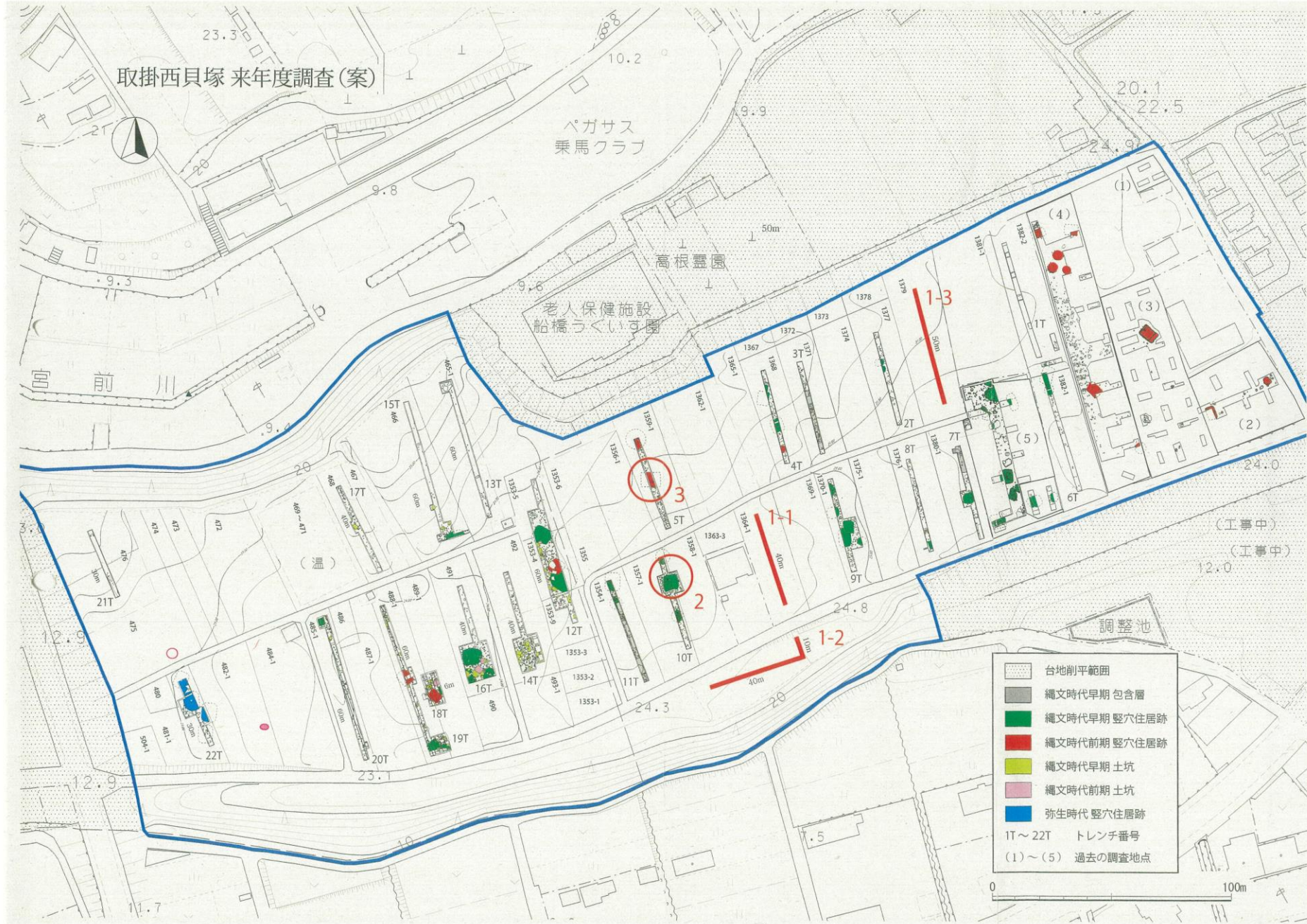
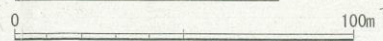
高根公園

老人保健施設
船橋つくいす園

宮前川

調整地

-  台地削平範囲
-  縄文時代早期 包含層
-  縄文時代早期 竪穴住居跡
-  縄文時代前期 竪穴住居跡
-  縄文時代早期 土坑
-  縄文時代前期 土坑
-  弥生時代 竪穴住居跡
- 1T ~ 22T トレンチ番号
- (1) ~ (5) 過去の調査地点



工 程 表

平成30年 1月 18日 作成

着手 平成31年 6月11日 (予定)
完了 平成31年 9月30日 (予定)

主任主事 白崎 智隆 印

| 遺跡名 | 取掛西貝塚 (8) | 住所 | 船橋市飯山満町1-1364-1ほか | 備 考 | | | | | | |
|---------------|-----------|---------------|-------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 月別進捗予定 | | | | | | | | | | |
| 工種 | 面積 (㎡) | 5 10 15 20 25 | 5 10 15 20 25 | 5 10 15 20 25 | 5 10 15 20 25 | 5 10 15 20 25 | 5 10 15 20 25 | 5 10 15 20 25 | 5 10 15 20 25 | 5 10 15 20 25 |
| 作業準備・環境整備 | | | | | 撤収 | | | | | |
| 発掘調査 | 758 | | | | | | | | | |
| 1-1Tr掘削・精査・実測 | 80 | | | | | | | | | |
| 1-2Tr掘削・精査・実測 | 98 | | | | | | | | | |
| 1-3Tr掘削・精査・実測 | 100 | | | | | | | | | |
| 5Tr前期住居調査 | 240 | | | | ※ネギの収穫時期により変動 | | | | | |
| 10Tr早期住居調査 | 240 | | | | | | | | | |
| 整理作業 | | | | | | | | | | |
| ○CADデータ整理・作図 | | | | | | | | | | |
| ○図面修正 | | | | | | | | | | |
| ○水洗・注記・分類 | | | | | | | | | | |
| 普及活動 | | | | | | | | | | |
| 体験発掘 (芝山西小) | | | | | | | | | | |
| 体験発掘 (一般) | | | | | | | | | | |
| 遺跡見学会 (一般) | | | | | | | | | | |
| 遺跡見学会 (地権者) | | | | | | | | | | |

【変更案】国史跡指定までのスケジュール案

平成 31 年 1 月 28 日
文化課

平成 30 年 11 月 14 日（水）に千葉県文化財課、21 日（水）に文化庁へ今年度調査成果等の報告を行い、協議を行った結果、総括報告書刊行の前に『取掛西貝塚（5）－Ⅱ』の刊行が必要になるとの指摘を受けた。よって、下記②の「①改訂案」への変更を考えている。

① 当初案（32 年 12 月 A. 総括報告書刊行→33 年 1 月具申→33 年 10 月告示）
→11/21 文化庁から A. 総括報告書刊行前（または同時に）B. 『取掛西貝塚（5）－Ⅱ』（コア）の刊行が必要であると指摘を受けた。→②の①改訂案へ

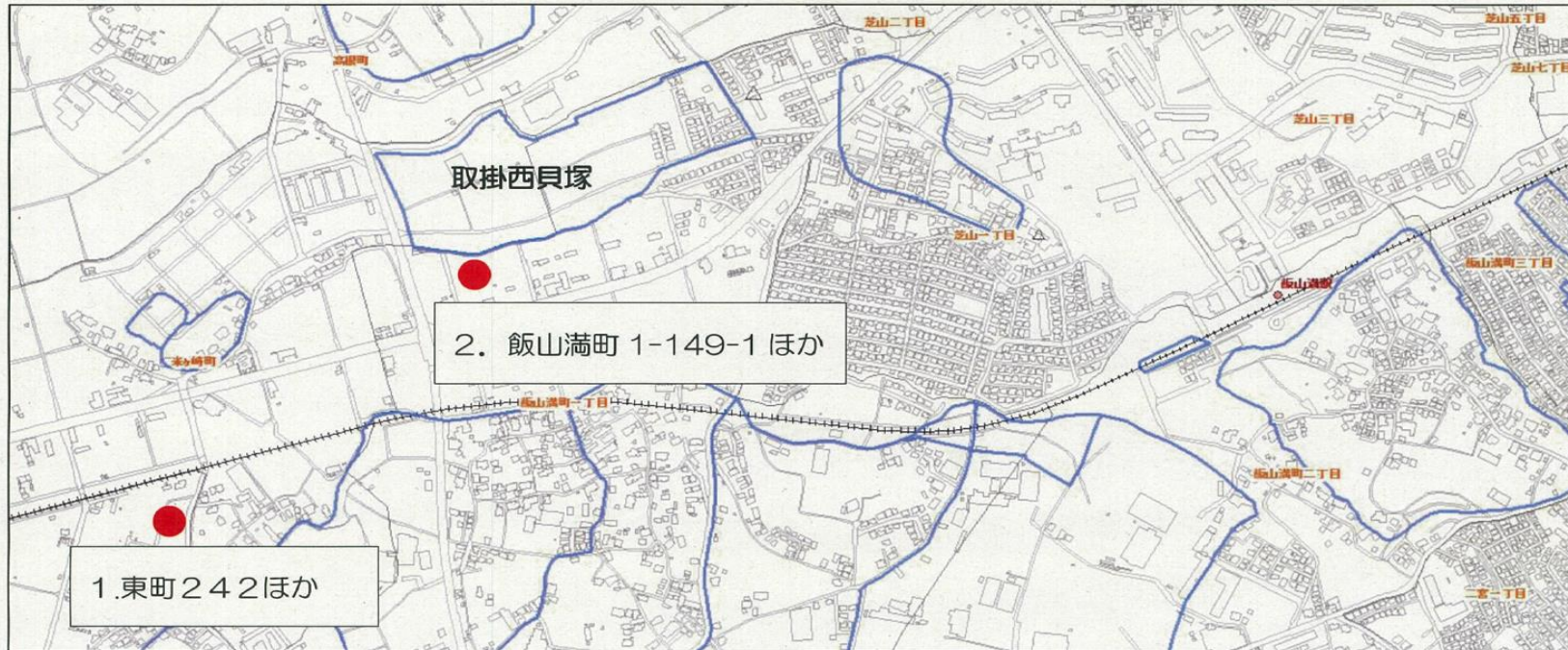
| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | |
|---------|----------|----------|------------|---------------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|
| 平成 31 年 | | | | 概報配布 ・協会発表 | | 調査 | → | | | | | | |
| 平成 32 年 | 同意 整理 | 交渉 作業 | ----- | | | | | | | | | | A刊行 |
| 平成 33 年 | 申請 | | | | | 答申 | | | | 告示 | | | |
| 平成 34 年 | | | 土地取得国庫補助事業 | | | | | | | | | | |

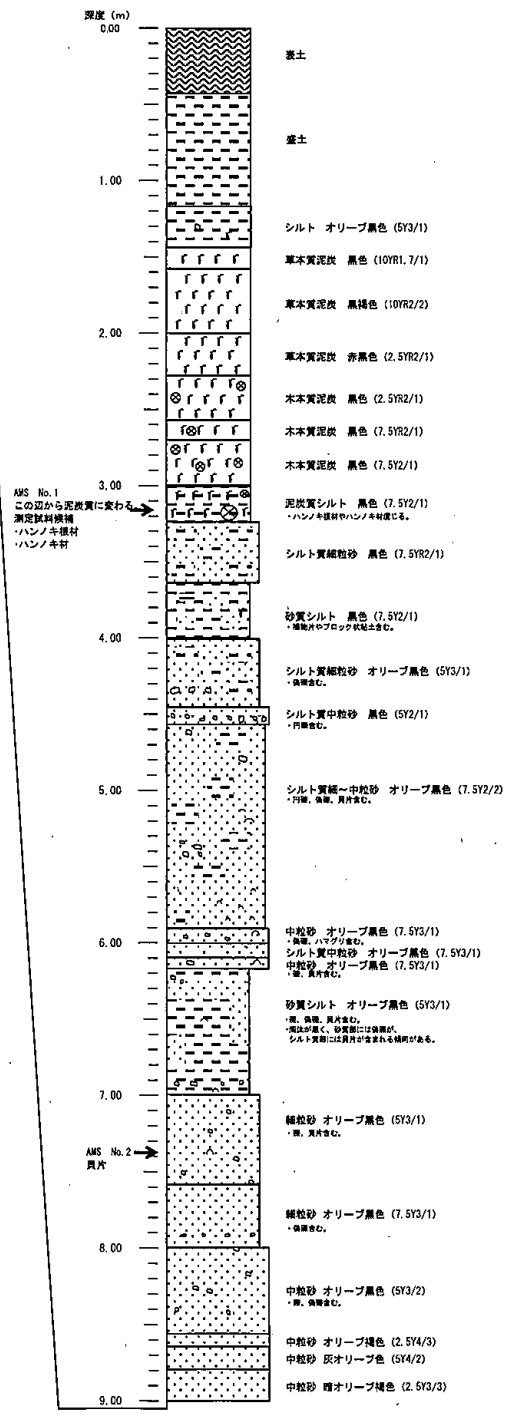
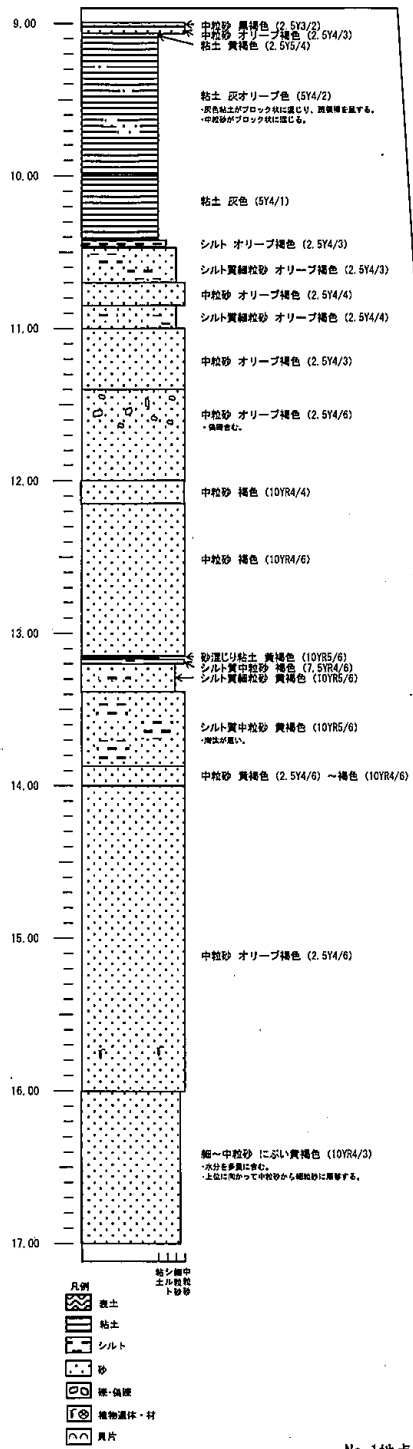
② ①改訂案（32 年 12 月 A. 総括報告書及び B. 『取掛西貝塚（5）－Ⅱ』（コア）刊行→33 年 1 月具申→33 年 10 月告示） ※A・B同時刊行案

| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | |
|---------|----------|----------|------------|--------------|----|----|-----------|----|----|-----|-----|-----|-------|
| 平成 31 年 | | | | 概報配布 (協会) | | 調査 | → A・B整理作業 | | | | | | |
| 平成 32 年 | 同意 整理 | 交渉 作業 | ----- | | | | | | | | | | A・B刊行 |
| 平成 33 年 | 申請 | | | | | 答申 | | | | 告示 | | | |
| 平成 34 年 | | | 土地取得国庫補助事業 | | | | | | | | | | |

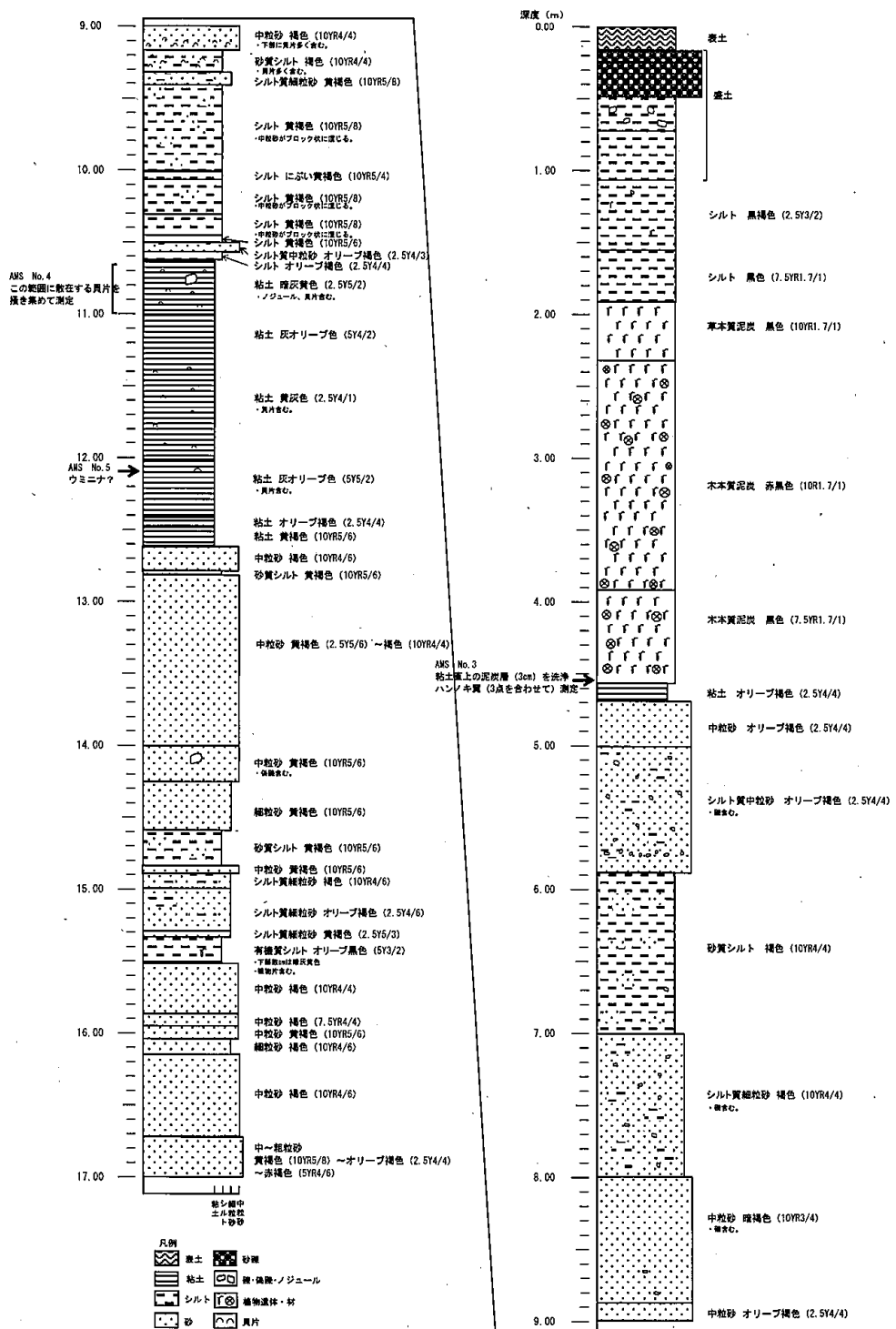
- ・考古学協会（5月） 概報のみ配布し、発表を見送る。
- ・執筆依頼のあった『日本考古学』（31年4月締切）は延期する。→時期については協会と協議する。

ボーリング調査地





No. 1地点における地質柱状図



No. 2地点における地質柱状図

平成30年度 普及事業の実施について

① 遺跡見学会・発掘体験

| 内容 | 開催日 | 見学者数 |
|----------------|----------|---------|
| 芝山西小6年生発掘体験 | 7月18日(水) | 40人 |
| 小中学校初任者研修会(見学) | 8月3日(金) | 111人 |
| 市民向け遺跡見学会 | 8月18日(土) | 242人 |
| 親子de発掘体験 | 8月23日(木) | 19組 48人 |
| 地権者向け現地説明会 | 9月1日(土) | 5世帯 10人 |
| 報道記者向け現地説明会 | 9月20日(木) | 7人 |

※市議会議員見学・発掘体験(公明党・共産党・民主連合・無所属)

※大学生発掘参加(25人)

② 講座等

| 講座名 | 開催日 | 参加者数 |
|-----------------|----------|-------|
| 小学校教員社会科副読本研修会 | 4月13日(金) | 54人 |
| 海神公民館講座 | 5月11日(金) | 30人 |
| 市民大学校講座 | 5月30日(水) | 29人 |
| 小学校初任者研修会 | 6月6日(水) | 111人 |
| 祭祀考古学会 | 6月9日(土) | |
| 芝山中NIE研究授業 | 7月12日(木) | 教員18人 |
| 飯山満公民館講座① | 8月29日(水) | 40人 |
| 飯山満公民館講座② | 9月12日(水) | 40人 |
| 飯山満公民館講座③ | 9月26日(水) | 40人 |
| まちづくり出前講座 | 10月7日(日) | 21人 |
| 小中学校校長会(阿部教授講演) | 12月7日(金) | 83人 |

※2月15日 市民大学校講座実施予定

※3月17日 取掛西貝塚学術調査記念講演会(調査報告会)実施予定

③ 刊行物

普及用遺跡マップ1万部を、国庫補助(地域の特色ある埋蔵文化財活用事業)を受けて、刊行し、市内の小学校(6年生全員)に重点的に配布した。また、取掛西貝塚パンフレット1万5千部を刊行し、3月1日から配布する予定である。

| 刊行物名 | 主な内容 | 販売・配布先 |
|-------------|----------|----------------------|
| 遺跡マップ 第4版 | 1万部・無料 | 市内小学校6年生・博物館・公民館等に配布 |
| 取掛西貝塚パンフレット | 1万5千部・無料 | 文化課・市内博物館・図書館等で配布 |

④ 広報・情報発信(HP・FB、広報ふなばし他)

新聞4紙・ミニコミ2紙掲載、CATV・千葉テレビ放映

船橋・取掛西貝塚 国指定史跡へ前進

1万年前の集落跡判明

船橋市教育委員会は発掘調査中の取掛西貝塚で縄文時代早期（約1万年前）の関東最大級の集落跡などが判明したと発表した。同市教委埋蔵文化財調査事務所によると、昨年6月からの本格的な学術調査で約1万年前の竪穴住居跡24軒を発見。約8坪×約7坪の、広い四角形の住居跡も見つかったという。

このほど開いた報道陣向けの現地説明会で明らかにしたもので、調査では約6千年前の竪穴住居跡やヤマトシジミ、ハマグリなどの貝層も確認された。

同貝塚は高台にあり、全体の面積は約7万6千平方メートル。周囲には畑や緑地、宅地が広がっている。

現地では平成11年度から断続的に発掘調査が行われており、これまでにイノシシ7体とシカ3体の頭骨を配置した国内最古級の動物儀礼跡も見つかっている。同種の儀礼跡は全国でも他に4つの遺跡でしか見つかっていない。

土器は神奈川、埼玉、栃

さまざまな地域と交流か

木、茨城各県などで出土した土器と共通性があり、取掛西貝塚の縄文人はさまざまな地域と交流していたことがうかがえるという。

市教委は来年度までで調査を進め、32年度に総括報告書を文化庁に提出。地権者の理解を得て国史跡への指定を目指す。

同調査事務所の石坂雅樹所長は「この高台には湧き水があり、イノシシや貝なども手に入った。住みやすく、代を継いで定住していたようだ。1万年もの間、破壊されず、奇跡的に残った。国指定史跡になれば、開発から守ることができると説明している。」



発掘調査によって約1万年前の集落跡が判明した取掛西貝塚
 20日、船橋市
 (塩塚保撮影)

船橋の取掛西貝塚 関東最大級と確認

市教委調査 縄文時代早期前半

国史跡の指定を目指している船橋市の取掛西貝塚について、市教育委員会は今年度、遺跡全域での基本的な確認調査を終え、調査結果を発表した。昨年度に続き、縄文時代早期前半(約1万年前)の竪穴式住居跡1万6千平方メートル、1999年



国史跡の指定を目指して調査が進む取掛西貝塚。船橋市



2008年の第5次調査で見つかった日本最古の動物骨。船橋市教委提供

などが見つかり、貝塚を伴った同時代の集落跡としては関東最大級となることが確認されたという。

遺跡は同市坂山瀬町1丁目から同市米ヶ崎町にかけての宅地や畑に広がる約7万6千平方メートル。1999年

度から2008年度までの宅地開発に伴う5回の事前調査で約1万年前の住居跡や鹿やイノシシの頭骨などを並べた日本最古の動物骨社跡などが見つかった。開発から保存するため、市教委は国史跡の指定を目指し、昨年度から5年かけて本格的調査を開始。今年度は未調査だった西半分を6月から調べた。

その結果、昨年度調査した東側でも見つかった縄文時代早期前半や同時代前期(約6千年前)の竪穴式住居跡や貝塚を確認。新たに弥生時代中期(約2100年前)の住居跡(6軒)も見つかった。また、各時代の土器や石器、貝なども確認された。

これまでの調査と合わせると、東西約500メートルに渡って約1万年前の集落跡が確認され、関東最大級ということが分かったという。

市教委埋蔵文化財調査事務所の石坂雅樹所長は「約1万年前と6千年前に、人が定住していたことを示している」と話す。昨年度は約1万年前の貝塚から海水と淡水が混ざった汽水域のヤマトシジミが出土した

のに対し、今回は約6千年前の貝塚から海産のハマグリなどが見つかり「約4千年間の気候変動を示す遺跡としても重要」と解説する。

周囲の遺跡は調査後の開

発などによってほとんどが失われているが、同貝塚の大部分は奇跡的に開発を逃れているという。来年度の補足調査などを経て、市は20年度に国に報告書を出し、地権者の同意を得て国

史跡の指定を申請する。その後、公園化などの整備を検討する。(足井基博)

千葉中央

「縄文期で全国最大級」

取掛西貝塚(船橋)



①縄文前期の遺跡が出土した取掛西貝塚。②縄文前期の土器が見つかった。船橋市教委提供。(いずれも市教委)

船橋市で発掘調査が進む取掛西貝塚西側で、縄文時代早期前半(約一万年前)と縄文前期(約六千年前)の居住層跡が見つかった。同遺跡で市と市教委は、市内初の国史指定を目指している。二十日には報道機関向けの現地説明会があり、市教委は「一帯は大規模集落だったことが確認されたこと」を踏まえ、約一万年前の縄文遺跡では「全国最大級」と話している。

取掛西貝塚で市は年度から本格的な発掘調査に着手しており、本年度は西側約三万平方メートルから調査を進めている。市教委によると、約一万年前に築かれた大規模集落を示す

今回調査した西側からは、縄文早期前半が七軒、縄文前期が三軒、弥生中期が六軒の居住層跡が出土した。これまでに海水と川の水が混じり合う汽水域に生息するヤマトシジミが主体の貝類が、縄文前期半の地層から見つかっている。今後は、縄文前期の地層から海水域に生息するハライガイやハマグリなども見つかった。そのため市教委は、縄文文化財調査事務所は「約一万年前から約六千年前にかけての縄文期を代表する

市内初の国史跡へ 市教委「1万年前の大集落」

遺跡としても重要と認め、弥生中期の居住跡からは、多数の土器も発見された。この遺跡では当時の植物の状況などを察するため、植物の種類や果実が土器にくっつきとして残る「縄文土器調査」も実施。市教委は、その時代の植物の利用方法や植生を復元できる可能性があるとしている。

都市化が進む船橋市で、こうした貴重な遺跡が残ったことで、同事務所の石坂雅樹所長は「まさに奇跡的」と指摘する。標高三三メートル前後の高台の台地であり、これまでほぼ薬物野菜中心の栽培が行われてきたため、開墾の手が伸びなかつたのが要因という。

この土地で約一万年前から集落が形成された理由は、①汽水域が近く、川の魚も捕れた②食用となる野生動物がいた③湧水があったなどを挙げる。

昨年度からの調査は三年間の予定で、本年度の発掘は今年まで。来年度は補充調査を行い、国史跡に向けて二〇二〇年度に縦横報告書文化庁へ提出。その後、文化審議会に諮問されることになっている。既に国史跡に指定できれば、船橋市は一帯に公園を整備する方針を示している。

取掛西貝塚 船橋市中央部の飯山湾(はさま)町から米ヶ崎町の台地にある遺跡。面積は約7万6000平方メートル。1999年から第1次調査が行われ、2008年からの第5次調査ではイノシシ7体とシカ3体の頭骨が配置された「動物儀礼跡」が出土した。国内では5遺跡6例目となり、最古の儀礼跡と分かった。

取掛西貝塚は関東最大級



学術調査が行われている取掛西貝塚(船橋市水ヶ橋町)

1万年前の集落跡で

船橋市教委で確認

船橋市教委は20日、縄文時代早期前半(約1万年前)の遺跡を中心とした同市の取掛西貝塚について、今年度の学術調査結果を発表した。これまでの調査結果と合わせるべく、土器片や住居跡が東西約500分の範囲に広がっていることが判明。約1万年前の集落跡としては県内最大で、関東でも最大級であることが確認された。

約7万6000平方メートルに及ぶ同貝塚のうち約2万1000平方メートルについては、宅地開発に伴う緊急発掘調査が2008年度までに行われた。市教委は昨年度から3年計画で、残る約5万5000平方メートルの学術調査に着手。昨年度は東側の約2万5000平方メートル、今年度は西側の約3万平方メートルで発掘調査を行った。同貝塚全域で調査が実施されたこととなる。

今年度の調査では、縄文時代早期前半の竪穴住居跡7軒、縄文時代前期(約6000年前)の竪穴住居跡3軒が見つかった。これら縄文時代の住居跡は早期前半が34軒、前期が16軒となった。また、弥生時代中期(約2100年前)の竪穴住居跡も新たに6軒確認された。

同貝塚からは国内最古とされる動物機札跡なども見つかっている。市教委は来年度、住居の構造を調べるとともに、炭化した植物の種などを分析して縄文時代初期の食糧事情や自然環境を解明する。20年度に報告書を国に提出し、地権者の同意が得られれば国史跡への指定を申請する方針だ。

作業部会について

| No | 開催日時 | 場 所 | 会 議 名 | 出 席 者 | 内 容 |
|----|----------------------------------|-----------------------------|--------------------|-----------------------------------|---|
| 1 | 平成 30 年 7 月 3 日 (火) 午後 2 時～ | 船橋市役所本庁舎 702 会議室・埋蔵文化財調査事務所 | 第 1 回先史考古作業部会 | 阿部委員長・佐々木委員・栗島先生・峰村先生 | <ul style="list-style-type: none"> ・作業部会の立上げ ・スケジュールについて ・これまでの調査成果と今後の調査について ・「取掛西貝塚 (5) と関連する遺跡の分布と特徴」(峰村先生) ・分析について ・確認調査出土土器の実見 |
| 2 | 平成 30 年 9 月 3 日 (月) 午前 10 時～ | 埋蔵文化財調査事務所・取掛西貝塚調査現場 | 第 1 回動物考古作業部会 | 樋泉副委員長・黒住先生 | <ul style="list-style-type: none"> ・貝層サンプルの整理作業方針について ・概報および総括報告書のスケジュールについて |
| 3 | 平成 30 年 9 月 25 日 (火) 午後 2 時～ | 埋蔵文化財調査事務所 | 第 1 回植物考古学・古環境作業部会 | 佐々木委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・ボーリング調査について ・土器圧痕調査について ・貝層・土壌サンプル等の自然科学分析の方法と進め方について |
| 4 | 平成 30 年 12 月 18 日 (火) 午後 4 時～ | 明治大学グローバルフロント C4 | 合同作業部会 | 阿部委員長・樋泉副委員長・佐々木委員・能城先生・栗島先生・米田先生 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成 31 年度の調査の方向性と分析研究成果の位置づけについて ・遺跡の構成要素から重要性を全国にどうアピールしていくのか？ |